

第1 調査結果の特徴等

1 県の平均変動率は、住宅地・商業地において3年連続で上昇し、上昇幅は拡大した。

- (1) 平均変動率をみると、住宅地は2.1%の上昇（昨年1.5%）、商業地は3.4%の上昇（昨年2.3%）となり、それぞれ上昇幅は拡大した。
- (2) 上昇、横ばい、下落地点数の割合をみると、住宅地では上昇地点数が73.2%（昨年68.3%）を占め、横ばい地点数が12.3%（昨年15.2%）、下落地点数が14.6%（昨年16.5%）となった。
また、商業地では上昇地点数が84.3%（昨年75.7%）を占め、横ばい地点数が8.2%（昨年11.8%）、下落地点数が7.5%（昨年12.5%）となった。

2 住宅地では、名古屋市、尾張地域、知多地域及び西三河地域で上昇し、東三河地域で横ばいとなった。

商業地では、名古屋市、尾張地域、知多地域、西三河地域及び東三河地域の全地域で上昇となった。

- (1) 地域別の平均変動率をみると、住宅地では名古屋市で3.9%（昨年3.1%）、尾張地域で1.4%（昨年1.0%）、知多地域で2.3%（昨年1.0%）、西三河地域で2.9%（昨年2.0%）、東三河地域で0.0%（昨年△0.1%）と名古屋市、尾張地域、知多地域及び西三河地域で上昇を、東三河地域で横ばいを示した。
また、商業地でも名古屋市で5.3%（昨年4.4%）、尾張地域で1.7%（昨年0.7%）、知多地域で1.5%（昨年△0.3%）、西三河地域で4.2%（昨年2.3%）、東三河地域で1.0%（昨年0.5%）と名古屋市、尾張地域、知多地域、西三河地域及び東三河地域の全地域で上昇を示した。
- (2) 市町村別の平均変動率をみると、住宅地では40市町（昨年36市町）で上昇を示し、商業地では40市町村（昨年34市町村）で上昇を示した。
一方、住宅地において、南知多町、美浜町など14市町村（昨年17市町村）が下落を示し、商業地でも南知多町、美浜町など8市町（昨年15市町）が下落を示した。
- (3) 名古屋市各区分の平均変動率をみると、住宅地及び商業地において、全ての区が上昇を示した。

3 最も大きい上昇率を示した地点は、住宅地では「中（県）-1（錦1丁目）」（16.4%）、商業地では「中（県）5-12（錦2丁目）」（14.7%）であった。

一方、最も大きい下落率を示した地点は、住宅地では「南知多（県）-2（豊浜）」（△5.1%）、商業地では「南知多（県）5-2（師崎）」（△5.7%）であった。

- (1) 住宅地では変動率上位5地点は名古屋市及び東海市の地点が占めた。
また、商業地では変動率上位5地点は名古屋市の地点が占め、そのうち、中区、中村区、千種区、東区及び中川区がそれぞれ1地点を占めた。
- (2) 住宅地では変動率下位5地点は南知多町、美浜町及び西尾市の地点が占めた。
また、商業地の変動率下位5地点は南知多町、美浜町及び西尾市の地点が占めた。